



子ども神輿と太鼓の巡行
白鳥神社の大祭（高木町）

豪雨で再び出土した 180万年前の化石樹を保全

愛知川漁協事務所横で屋外展示

川原に点在する化石樹（広報えいげんじ）
平成2年11月号



完成した屋外展示棟。市の協力で案内板が、また「愛知川化石樹」の銘板は、今若稲蔵さんから寄贈していただきました



愛知川で発見し、重機で搬出。愛知川清流会で保全、展示することに



雨・風から守るために、ボランティア活動で屋根を設置。木材は永源寺森林組合から提供していただきました

1990年（平成2年）に山上町地先の通称ひじおりと呼ばれる愛知川で、およそ180万年前の化石樹が発見されたことを覚えておられますか。

当時発見されたのは、化石樹（大小22個の根株）のほか、ソウヤシカ類の足跡、メタセコイヤやハンの木の実の化石など多数で、まだ人類が存在しなかった頃の永源寺地域の様子を探るうえで貴重な資料として話題を集めました。これらの標本は、県立琵琶湖博物館で展示されていますが、現在の愛知川では河床の低下によって流されたのか、まったく見ることができませんでした。

しかし、昨年夏の豪雨により100mほど流されていた化石樹1本を愛知川清流会が清掃作業中に発見しました。河川にそのまま放置しておく、琵琶湖まで流下して壊れてしまふおそれがあるため県の搬出許可などをいただき、愛知川漁協事務所横で保全、展示することとしました。展示するに当たっては、雨から崩壊を防ぐため、市会員により屋根を取り付け、市から案内板の協力もあり3月末に完成。4月17日には、お披露目の式を行いました。

化石樹は、太古に生育した樹木が当時生育していた状態のまま土砂に埋もれ化石となったもので、現在までに132本が確認されており、化石樹周辺からは、アケボノソウの足跡も見られていることから、当時のこの地域の環境は、湿地帯で木のメタセコイヤ林にアケボノソウが群れで生息していたと推測されています。（愛知川清流会から情報提供）

編・集・後・記

◇今年も、東日本大震災から13年が経過しましたが、福島第一原子力発電所の事故もあり完全な復旧復興はまだ先である状況の中、1月1日には能登半島地震が発生し、今もなお避難生活を余儀なくされている方がたくさんおられます。災害、特に地震については、いつ発生するかわからない中で、「南海トラフ地震」は30年以内に70%から80%の確率で発生するといわれております。遠い先の話ではなく現実的な目の前の話として、地震に対する備えを常日頃からしておく必要があります。また、依然として新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にも引き続き注意が必要ですね。◇来年は、「わたしSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」として滋賀県で国民スポーツ大会等が開催されます。前回の滋賀県での開催は、「びわこ国体」として昭和56年に開催されました。その時は、まだ小学生でしたが、自転車レースにおいて高木峠をすこいスピードで走っておられたような記憶がうつつら残っております。市内でも7種目（サッカー、ボクシング、自転車、野球、ソフトボール、カヌー、ゴルフ）の競技が開催されますので、大いに盛り上がることを楽しみにしています。◇今年も自治会のほか、いろいろな役が当たりの年ですが、微力ながらそれぞれ一歩ずつ頑張りたいと思います。（S）

まちの話題



こんにちは保健師です 21

毎食野菜を1品ふやしましょう！

東近江市民の野菜摂取量は208.7gで、健康増進のための目標量350gには、あと約140g足りません。



<1日に摂りたい野菜の目標量>

緑黄色野菜 120g以上

中の色の濃い野菜



1日2皿

淡色野菜

230g以上

中の色の薄い野菜



1日3皿

毎食に1品ずつ野菜の小鉢を増やすことが大切です。次回は、簡単な野菜の摂り方を紹介します。

東近江市 健康づくり



永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『近江学 第15号』

成安造形大学附属近江学研究所／編集・発行

中世の時代に生まれた「惣村」とは、自然災害や水争いなどの様々な外圧から集落を守るために結束した集落のこと。今号では「惣」をテーマに東近江の得珍保（とくちんぼ）今堀集落などを取り上げ、中世の集落がいかに結束していったかを探っています。「水・山と暮らす—近江における近世の村落」（東幸代）では、旧永源寺町の山郷がどのように山利用を行っていたか、上野原にある「井水功績進問之碑」にみられる水論（水争い）や、旧能登川町で起こった山論（山林に関する論争）の様子を知ることができます。



『こせい vol.1』

ボコとデコプロジェクトチーム／企画・発行

「正直なものづくり」をテーマに発行するフリーペーパー『こせい』。この言葉のきっかけとなったのは、耕作放棄地を利用した有機農法を行う「永源寺マルベリー」との出会いだったそう。創刊号となる今号では東近江で活躍する「政所茶・茶縁むすびの山形蓮さん」「ヒトミワイナリーの栗田智史さん」「KUMINOの井上慎也さん」「日本画家の井上礼華さん」の4人を取り上げています。地域に根差し、まっすくにものづくりに向き合う彼らの姿がまぶしく映ります。



まちいっぱい、夢いっぱい「永源寺桜」桜守り「ゆめ咲良会」桜の木を手入れ



3月10日、「永源寺桜」の普及と桜守りをしている「ゆめ咲良会」のメンバーが、コミュニティセンター前の桜の植え替えと施肥などの手入れを行いました。平成11年、永源寺町商工会女性部が新たな町の観光資源として、「大本山永源寺」の境内にあったことからその名前が付いたとされる「永源寺桜」の植樹を始まりました。その後、町内の随所に植樹され「ソメイヨシノ」より1週間遅く咲き始める桜花は住民や観光客の目を楽しませてきました。最初の植樹から四半世紀が過ぎ、枯渇する木が多く見られるようになりました。コミセン前の桜も2本枯れてしまい若木の植樹を行いました。春には可憐な花がいっぱい咲くことを願っています。

歌とよし笛の演奏で春色気分 永源寺桜春うたコンサート



永源寺コミュニティセンターが毎年、桜が開花するこの時期に開いている人気のコンサート「永源寺桜春うたコンサート」が、4月6日、同センター玄関ポーチの特設ステージで催されました。第一部は、彦根市を拠点に活動している音楽ユニット『うたとも』が「東京ブギブギ」や「上を向いて歩こう」など、馴染みの曲を披露。観客は手拍子や体でリズムをとりながら演奏を楽しんでいました。第二部は、約20年前からよし笛の普及や演奏活動を続けている『はなちゃんず』が「桜坂」や朝ドラ「らんまん」の主題歌などをよし笛で演奏。美しい音色が会場に響き渡り、約100人の観客はうっとり音楽に聞き入っていました。

新しいまちのお巡りさん 政所駐在所 飯山健一さん



今年度から、政所駐在所に赴任してまいりました飯山健一（いいやまけんいち）と申します。平成26年に警察官に採用され、草津警察署、高島警察署、長浜警察署で勤務しました。出身は、地元能登川地区ですが、奥永源寺地域のことはまだあまり分かりませんので、パトロールをしながら地理を覚えていきたいと思っています。

特技は動画作成で、YouTube 滋賀県警公式チャンネル「☆架空請求料金詐欺の被害防止に向けた啓発動画を作成しました☆」という動画などをアップロードしました。この動画は、わたしが監督・編集・撮影した動画ですので、よければご覧ください。

子ども神輿が復活 甲津畑町みらい会議の呼びかけで



3月31日に甲津畑町藤切神社の大祭が開催されました。大祭は、宵宮から太鼓と鐘が鳴り、宮役による練り歩きが行われる行事ですが、今年は甲津畑町自治会みらい会議が住民に声を掛け、数十年ぶりに子ども神輿が復活しました。

当日は晴天に恵まれ、子どもたちは法被姿で地域の皆さんにサポートしてもらいながら町内を練り歩きました。参加人数は少ない状況でしたが、久しぶりに見る子ども神輿に歓声と笑顔があふれていました。

永源寺の四季を感じながら
心やすらぐひとときを
お過ごしください

天麩羅和膳
1,980円税込
天ぷら・刺身・茶碗蒸し・
ごはん・みそ汁・香の物

平日17時以降入館の
お客様限定

ナイトプラン

入浴 食事が
セットになったお得なプラン!

まんぞく 入浴料 + 2,860円までのお料理1品 **2,860円** (税込)

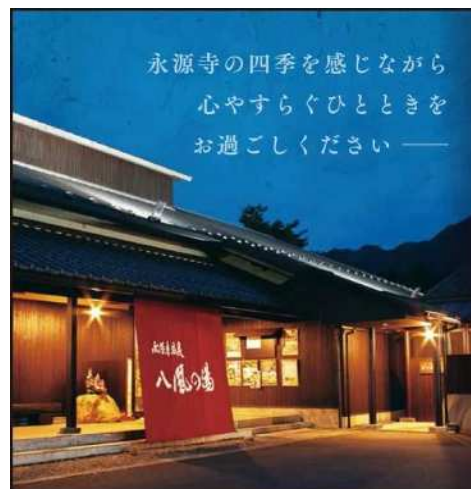
なっとく 入浴料 + 1,760円までのお料理1品 **2,200円** (税込)

おでがる! 入浴料 + 1,100円までのお料理1品 **1,760円** (税込)

ご予約は 0748-27-1126

https://www.happuno-yu.com/eigenji/

八風の湯



クローズアップ☆

地域おこし協力隊を修了 国分良高さん、3年間の活動を報告

地域おこし協力隊の国分良高さんの活動報告会が3月31日、永源寺図書館で行われました。国分さんは愛知県出身でオーダー家具の製造会社に勤めておられました。2021年から地域おこし協力隊として、永源寺の木材を利用した家具、木製調度品の製作に活躍されました。学生のころから「木が好き」という気持ちから家具製作に従事され、「加工している木材、材料」と「山に立っている立木」に興味を持たれたことがきっかけになり、永源寺地区(佐目町)に来られました。



任期を終え小椋市長から修了証を受け取る国分良高さん(左) 3月22日、市役所での修了式

カデミーで林業の基礎と重機の操作も含めた林業の実務を学ばれ、その後、奈良県吉野郡で行われた「自伐型林業」で小規模の限られた森林の永續管理をしながら持続的に収入を得ていく林業を身につけられました。並行して永源寺森林組合の現場作業にも同行され林業の実務も経験されました。林業にて木製品の原料「木材」のことは学びながら、本業の家具などの製作にも励行されました。山から搬出された丸太を製材・乾燥を行い木工製作の材料を作るところも自ら手掛けられました。「製材、乾燥の工程は地域の木材を使用していることと考える必須の工程で、とても重要な工程なのです。木工では木取りが一番大事とよく言われるの



椅子やテーブルなど、自らの作品を紹介する国分さん

ですが、製材(乾燥も含めて)が上手くいっているとそのあとの作業の進捗が大きく変わってきます」と話されました。地域の原木を利用した家具作りには製材、乾燥も大切な工程であることを実務で学びました。林業を通じて木地師とのつながりも持たれ、充実した「あっという間の三年間」を過ごされました。

今後の展望として、「変わらず山に関わりながら木工、モノづくりを続けていき少しずつでも成長し続けていくこと。具体的にはこの三年間で取り組めなかった拠点として自宅兼工房の整備と、山から搬出される丸太の自家製材です。今後の活動も愉しんで取り組み、自分が愉しく取り組んだ結果が地域の山の保全や林業の活性化など、人々の山に対する関心に繋がり、人の心を動かすことができたら最高だと思っています」と。地域おこし協力隊としての任期は2024年3月ですが、これからも佐目町の自宅兼工房を拠点に、地元の木を使ったオーダー家具の製作に励まれる予定です。これからも更なるご活躍をお祈りしたいと思います。

卒業・卒園を記念して

バルーンリリース



写真上から、山上小学校、永源寺もみじ幼稚園、市原小学校、写真下、準備をする商工会青年部の皆さん



3月14、15、21日に分けて市原小学校、山上小学校、永源寺もみじ幼稚園で、バルーンリリースが行われました。このイベントは、東近江市商工会青年部が主催したもので、年に一度、卒業シーズンに開催され今年で3回目となります。コロナ禍でも、子どもたちに少しでも多く思い出を作ってもらいたいと始まったこの企画、短冊に将来の夢や希望を綴り、

風船にくっつけ空に飛ばします。幸い3日間とも風がほとんどなく、子どもたちの思いを乗せたバルーンが綺麗に大空に舞い笑顔が溢れていました。 ※風船などは環境に配慮し、分解しやすいものを使用しています。

奥永源寺漁業協同組合

渓流釣りの楽しさ知って 初のレディーズ釣り教室

3月16日、奥永源寺漁業協同組合主催による女性を対象とした渓流釣り教室が、神崎川で行われました。

この教室は、女性に渓流釣りの楽しさや奥永源寺の豊かな自然を感じてもらおうと開かれたもので、講師はスポーツニッポン新聞社の釣りを担当する記者や釣り愛好家の方々。参加者は、講師から渓流釣りの心得や魅力などの説明を受けた後、竿への仕掛け作り、竿の動かし方などを教わりながら、仕掛けを投げ込んでいました。



仕掛け作りを講師から教わる参加者



釣りに楽しい。そう思える瞬間

三重県桑名市から参加した女性は、「釣りは最近始めたばかりで、初めて釣れたとき、めっちゃ嬉しかったです。自然いっぱい、マイナスイオンを浴びストレス解消になりました」と。また、池田則之組合長は、「新聞社の協力もあり初めて企画しました。ほとんどが素人で教える方もたいへんでしたが、自然の中で釣りを楽しんでもらったのではないかと思っています」と、話されています。

オートバイの修理 整備 車検

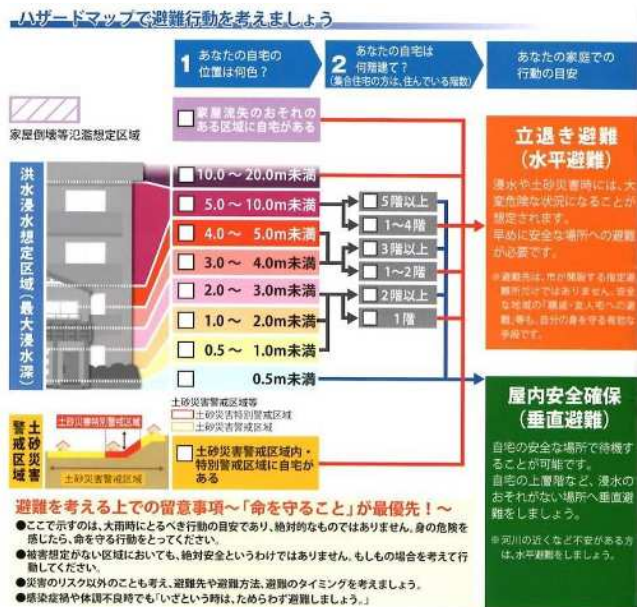
近畿運輸局認証整備工場 1740



山中 輪業



滋賀県東近江市山上町 2920-2 TEL 0748-26-2505 水曜定休



令和3年5月発行『東近江市防災マップ』から抜粋

- ◆フォーラムでのプログラムと報告者◆
- §1-1 水害リスクへの対応
県土木交通部流域治水政策室 矢野充泰さん
 - §1-2 土砂災害リスクへの対応
県土木交通部砂防課 久保田恵子さん
 - §2 防災マップで避難行動を確認
市総務部防災危機管理課 馬見夏野子さん
 - §3 地区防災計画の重要性
日本防災士会滋賀県支部防災士 川島幸夫さん

こと、避難行動を確認しておくことが大切。避難行動といっても、状況に応じて水平避難(立ち退き避難)と、垂直避難(屋内安全確保)があり、命を守ることを最優先して行動するためにも、市が発行している**防災マップ**の確認をと呼びかけられました。

また、「指定避難所とは、災害が起こったときに避難する場所であり、被災し自宅で生活できない人が一時的に生活する場所、自宅では危険性がある人が危険性が低下するまで滞在する場所であって、決して快適なところではないことを心

なぜ「地区防災計画」が必要なの？

- 災害発生時、助けてくれるのは近隣住民です。
- 災害による被害を最小化し、誰一人取り残さないためには、「自助」の充実はもちろんですが、行政が作る「地区防災計画」と、住民で作る「地区防災計画」を車の両輪として進めることが重要です。
- 「地区防災計画」を通して、いろんな人々とつながること、無限度の可能性を秘める「自助+共助」を推進することができます。

自助 (義務)	自助+共助 (任意)	公助 (義務)
1	∞	1

図. 大災害時に望まれる自助、共助、公助の関係性

【公助】
消防・警察・自衛隊
22.9%
約8,000人

【共助】
近隣住民等
77.1%
約27,000人

図. 阪神・淡路大震災における救助主体と救出者数
出典: 『大規模地震災害による人的被害の手帳』(1997) 自然科学16号1頁より

「阪神淡路大震災では、近隣住民による被災者救出が消防、警察、自衛隊の救出よりはるかに多く、地域の防災力が見直され、2004年に防災士会が誕生。滋賀県では約3300人が登録されている」と自身の肩書

「高齢者が多く空き家も多い。平日昼間の在宅者数が少ないこと、自治会には加入しないが防災活動には参加するといった声など、共助への理解や意識は高いなどの結果が得られた」といいます。

この後、令和元年に発足した自主防災会議での取組を紹介され、最後に「なぜ、地区防災計画が必要なのかについて触れられ、「災害発生時、助けられるのは近隣住民です。地区防災計画は、自らの命を守り、家族やまちを守るための計画です」と締めくくられました。

東近江市 広報課 IP電話: 050-5801-5611 東近江イズム。 NISHIKAWA

LINE 友だち募集中

公式アカウント

暮らしに便利な情報をお届け!

QRコードを読み取って 友だちに追加する

しらせしがの安全・安心情報 しらせしがメール しらせしがLINE

◆メール配信を受け取りたい方はこちら
下記アドレスに空メールを送信してください。
Mail:login@pref-shiga-info.mailio.jp
(左記の二次元バーコードからアクセスも可)

◆LINE 配信を受け取りたい方はこちら
「しらせしが」公式LINE アカウントを検索し、友だち追加をしてください。
(左記の二次元バーコードからアクセスも可)



平成30年7月豪雨災害(岡山県倉敷市真備町 H30.7.8 国土交通省撮影)



「頻発する近年の水害発生背景には、1時間に50mm以上の雨が降る回数が増えている。つまり線状降水帯が発生するなど雨の降り方が変わってきている」との報告があり、「令和元年東日本台風」

■**水害リスクへの対応**
 雨の降り方が変わってきています

「頻発する近年の水害発生背景には、1時間に50mm以上の雨が降る回数が増えている。つまり線状降水帯が発生するなど雨の降り方が変わってきている」との報告があり、「令和元年東日本台風」

「どこが危ないか、いつが危ないか、どのように避難するのか、**防災マップ**の確認や、どれくらい危険性が高まっているのかの情報収集が対策の鍵である」と強調されました。

■**防災マップで避難行動を確認**
 状況に応じた避難行動を、「災害に備えるためには、何よりも地域の危険性を知る

■**土砂災害リスクへの対応**
 危険性を判断しにくい

「土砂災害は大雨や地震などにより山や崖が崩れたり、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れてきたりすることによって、人命が奪われたり、建物を押しつぶしたりする災害。水害と異なり、目視による確認、発生場所・時刻の予測が困難である。危険性を認識しにくいため、避難が遅れ、人命に関わる被害が発生しやすい」と土砂災害の特徴について話されました。

「東近江市が作成している**防災マップ**は、愛知川などの大きな河川だけでなく身近な水路の氾濫なども考慮した浸水想定を示していることで、必ず確認しておくこと。さまざまな媒体から情報を収集し、早めの避難が基本である」と強調されました。

また、「滋賀県内では、発生件数が少ないものの、令和5年には全国で1471件発生している。近年の異常気象により今まで経験したことがない豪雨が観測されており、今まで発生していない地域でも土砂災害が発生する危険性が高まっている」と注意を喚起されました。

防災マップ

水害では、犠牲者の7割が60歳以上」との結果を指摘されました。

「東近江市が作成している**防災マップ**は、愛知川などの大きな河川だけでなく身近な水路の氾濫なども考慮した浸水想定を示していることで、必ず確認しておくこと。さまざまな媒体から情報を収集し、早めの避難が基本である」と強調されました。

土砂災害の種類

- 土石流: 山や谷の土砂が大雨等で流れ、水と一緒に、一気に下流へ流れる現象。
- がけ崩れ: 降雨や地震などの影響により、急斜面が突然崩れ落ちる現象。早いスピードと大きな破壊力を持つ。死者の発生割合も高い。
- 地すべり: 斜面の土壌が地下水などの影響で動き出す現象。一般的に広範囲に及び移動土壌量が多いため、大きな被害を及ぼす可能性が高い。

永源寺地区
まちづくりフォーラム

地域防災力の向上

まずは、**防災マップ**の確認を

暮らしやすい地域づくりを考える「まちづくりフォーラム」が、2月23日、永源寺コミュニティセンターで行われました。このフォーラムは、まちづくり協議会とコミュニティセンター、自治会連合会が地域の課題を共有して、課題解決に向けて暮らしやすい地域づくりを考えていただくきっかけをつくらうと企画され、今年で4回目。今回は、「地域防災力の向上」をテーマに行われ93人が参加されました。4人の報告者からの話しのポイントをまとめてみました。